


# 東京農業アカデミー八王子研修農場

農業技術や経営ノウハウ等の習得を中心に農外からの新規就農者を育成

 (公財) 東京都農林水産振興財団  
東京農業アカデミー八王子研修農場  
農場長 小寺 孝治



# 東京農業アカデミー八王子研修農場事業の目的

東京農業の活性化と持続的発展のためには、**次代を担う農業後継者や農外からの新規就農者の確保と定着が不可欠**

これまで都には、農外からの新規就農希望者が農業の技術や経営に必要な知識を学ぶ施設がない状況

そこで、令和2年度から**就農希望者が実践的な栽培技術や農業経営に関する知識を習得するための研修農場事業を立ち上げ、東京農業の担い手の確保・育成を図る**

**(東京都が施設等を設置、財団が研修事業を管理運営)**

○令和2年度都政モニターアンケートでは、東京に農業必要が8割、都が力を入れるべき施策は「農業後継者の確保・育成、新規就農者への支援」が7割と最も高い

# 東京農業アカデミー八王子研修農場の特徴

○東京で唯一の公的な研修施設

○東京で新たに農家になる覚悟のある方を育成・支援

やる気  
次第

- ☆ 実際の野菜作りと経営ノウハウ
- ☆ 商品づくり・販売・ブランド化
- ☆ スマート農業 等々を学べる

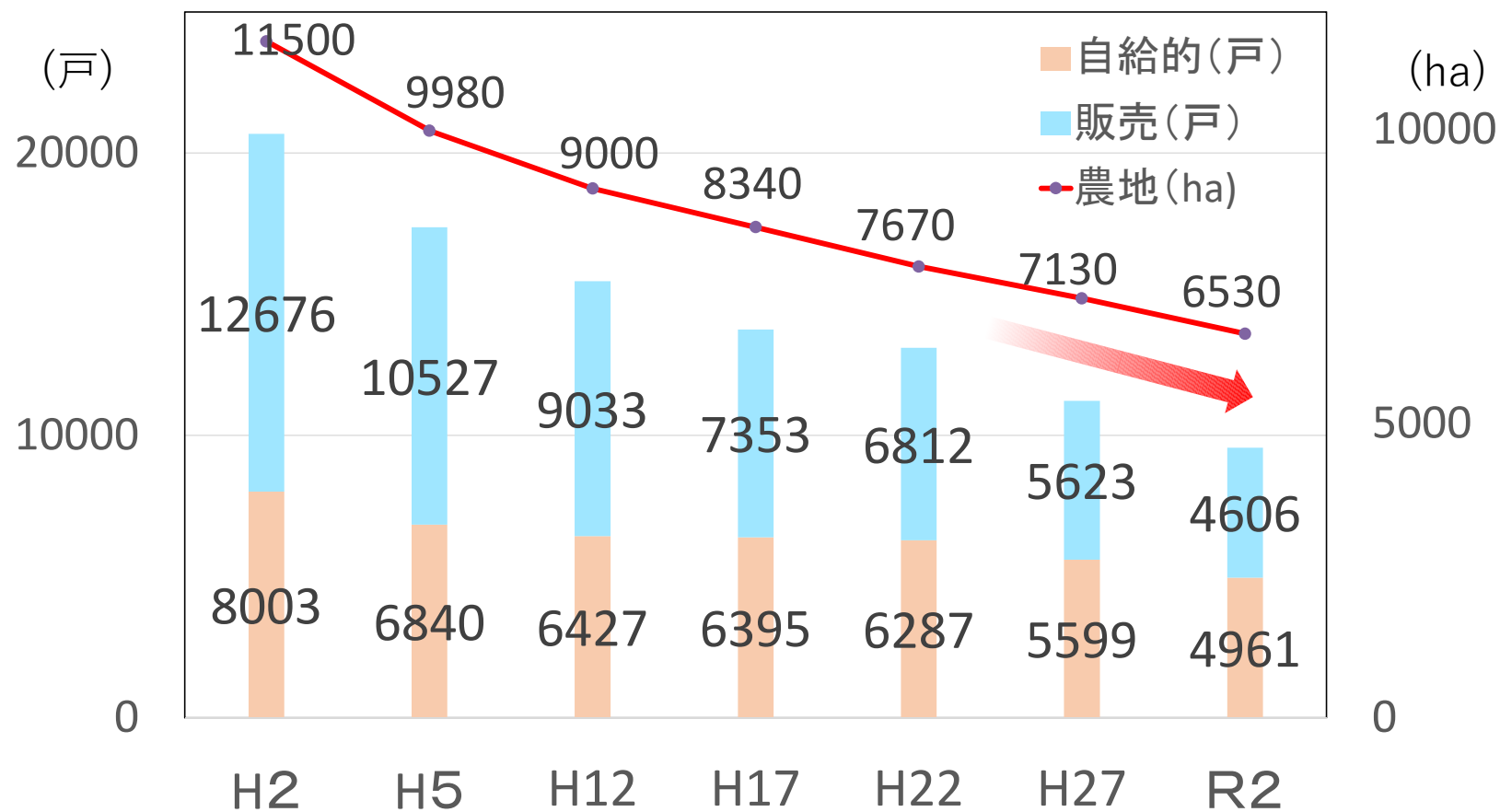
少人数制 ⇔ 多様なスタッフや外部講師が指導



農業経営者（事業主）を育成します

# ○東京農業の課題：農地面積や農家数の減少

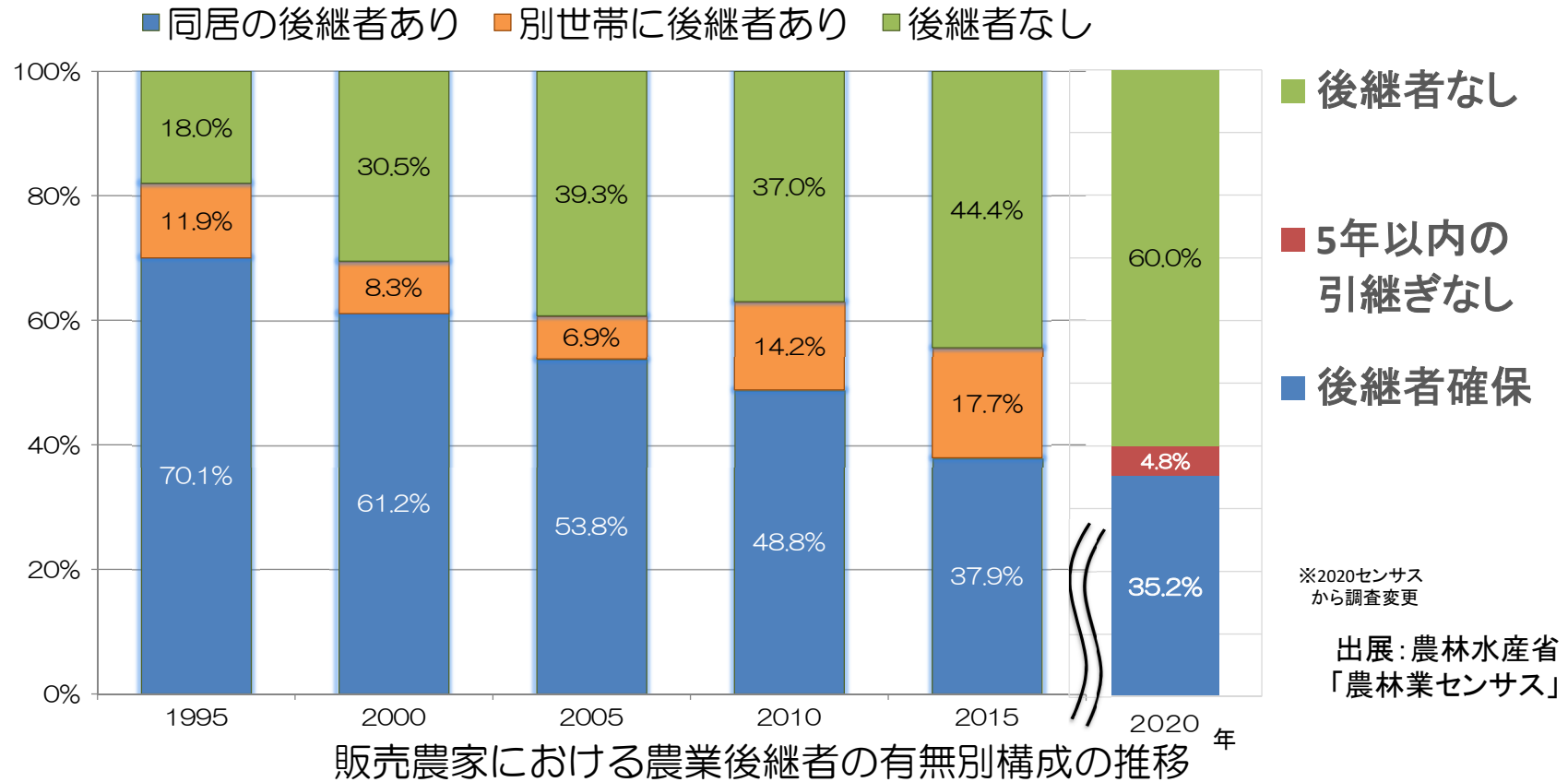
農地の減少に歯止めをかけるため、農業の担い手の確保および育成は重要な課題



(R2)  
生産緑地  
3,021 ha  
宅地化農地  
645 ha

(R2)  
平均年齢  
65.6歳

## ○ 農業後継者の有無



- 販売農家のうち同居の後継者がいる割合は毎年減少し、現在（2015年）**全体の4割以下**
- 一方、後継者なしの農家は増加し、全体の**半数近く**を占める

## ○東京農業の特徴

- ・都市（近郊）という立地を活かした多様な農業が展開
  - ex. 少量多品目栽培、株売り・畝売り、農業体験農園、など
- ・自ら販路を開拓することで、販売先は多様
  - ex. 直売、学校給食、飲食店、量販店、流通業者、EC、など
- ・都市の中に農地があることによる多面的機能の発揮
  - ex. 防災機能、環境機能、教育機能、など



### 【メリット】

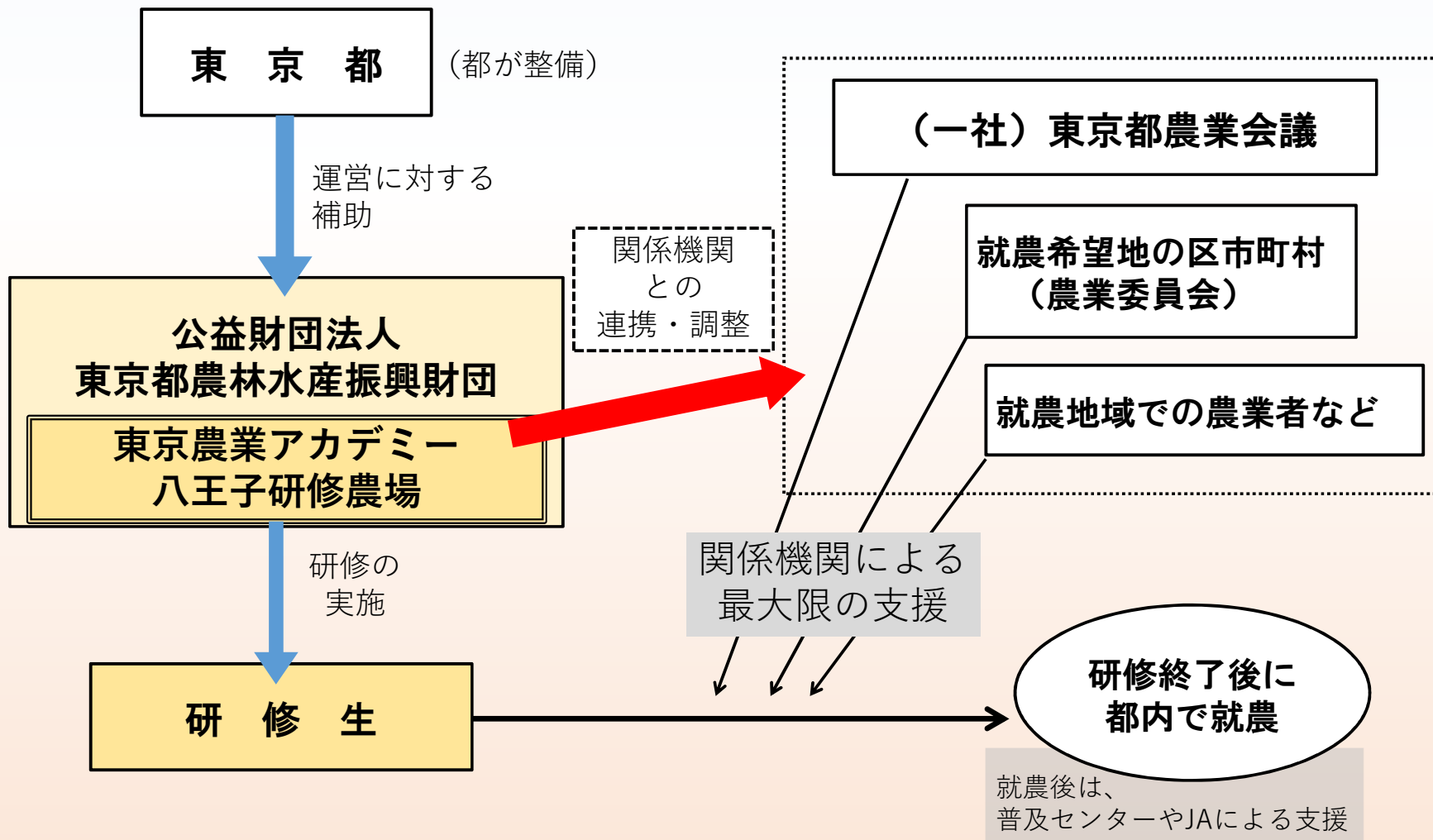
- ・消費地と近いので、顔が見える関係で農業ができる
- ・新鮮で安全安心な地場産野菜を求める声に応えることができる
- ・栽培品目や販路を自由に選択できる

### 【デメリット】

- ・近隣住民の理解が得られないケースがある
- ・農地が少ない、地価が高い等、農地確保が難しい

**農業者の努力と創意工夫次第  
で可能性は広がります！**

# ○東京農業アカデミー八王子研修農場と関係機関との連携関係



# 所在地



## 東京都八王子市大谷町

八王子研修農場  
研修棟

7,081m<sup>2</sup>

JR八王子駅北口及び京王八王子駅のバス停から「バ01：宇津木台」行など  
(バス停「八王子郵便局」下車 徒歩約10分)



# 研修圃場

元気農場

第1農場  
(共同圃場)

第3農場  
オーガニック圃場

第2農場  
(区画圃場)

大谷町

Google



# 八王子研修農場事業

➤ 新たに農業への参入を希望する者が就農に必要な農業技術等を体系的に習得するための研修農場を開設し、都内での就農を促進する。

## ■施設名称

東京農業アカデミー八王子研修農場

## ■開設年度

令和2年度(2020年)

## ■研修期間(受入人数)

2年間(毎年5人程度)

## ■研修内容

- ・農場を活用した「栽培実習」と講義形式による「座学」、市場や先進農家の視察などを実施
- ・就農に向けたフォローにより、農地を確保し、スムーズな就農および定着を支援

## ■事業計画

R1	R2	R3	R4	R5
施設整備(生産施設、研修棟、農産物倉庫等)、研修用機械の導入<直営>				
←-----→				
研修農場運営開始<補助>				
←-----→				
第1期生	←-----→			順次3、4期生
	第2期生	←-----→		

	栽培実習	座学	就農準備
1年目	栽培指導員による指導下で、作業内容を教わりながらの圃場実習	栽培技術の座学講習(野菜栽培の基礎、病虫害防除、施肥管理等)	指導農業士への派遣研修等により就農イメージを醸成
2年目	栽培指導員と相談しながら作付計画を立て、各自に割り当てられた区画圃場で実習	就農に向けた座学講習(農業法規・農地制度・農業経営等)	就農希望先の先進農家への派遣研修等により、地域への就農定着を支援

事業種別	補助事業((公財)東京都農林水産振興財団)
R4年度予算額	直営事業(施設整備) 215百万円

# 研修内容等

## ➤ 1 研修の目標（到達点）

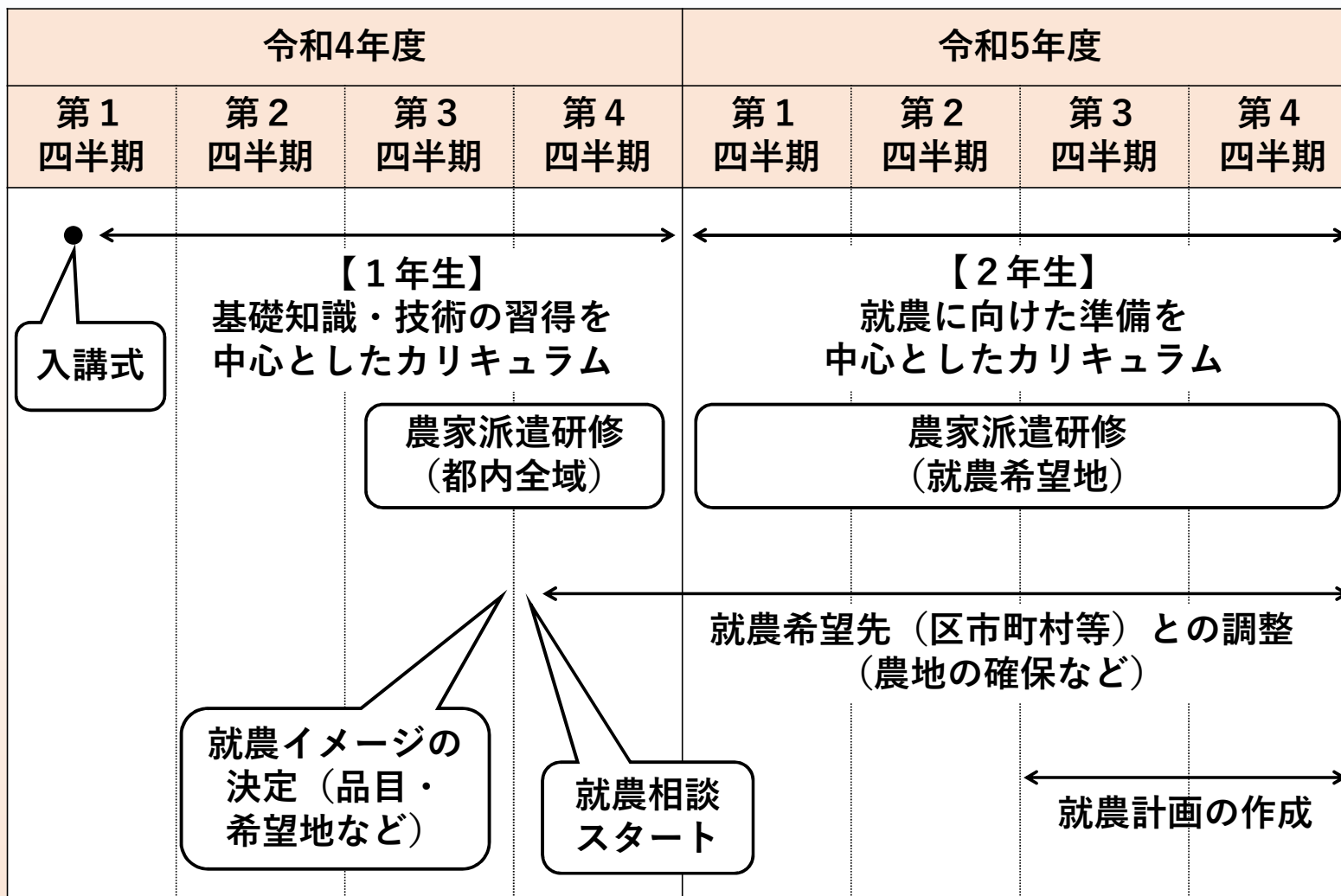
- (1) 農外からの新たな就農希望者に、実践的な農業技術や農業経営に関する知識を習得させる。
- (2) 研修中から、就農先の農家や区市町村、農協、既に参入している新規就農者などとの連携をつくとともに、研修終了後に円滑に営農できるような協力関係づくりまでサポートする。

## ➤ 2 研修時間（2640時間以上、各年次1330時間以上）

- (1) 講義（1年次111時間、2年次30時間、座学）  
作物の栽培に必要な基礎知識、経営する上で必要な法制度や農業簿記等の習得
- (2) 演習（1年次87時間、2年次228時間、座学）  
農業機械や施設などを実際に扱い、正しい利用・管理方法等の習得  
（2年生は、経営分析演習、就農準備、研修成果レポートの作成等）
- (3) 外部研修（1年次156時間、2年次306時間、座学）  
農家や卸売市場の視察や農家への派遣研修を行い、経営者としての感覚を身につける。
- (4) 栽培実習（ほ場）（1年次984時間、2年次786時間、座学）  
研修農場内にあるほ場にて、栽培指導員の指導の下、野菜を栽培し、農業生産に関する一連の作業を実践することで農業技術を習得

（参考）研修費用：年間118,800円

## ○年間の主なスケジュール(予定)



# 時間割

## (1年生：令和4年度)

時限	時間	月	火	水	木	金
1	8:50~10:20	実習	実習	実習	実習 派遣研修*	実習
2	10:30~12:00	実習	実習	実習	実習 派遣研修*	実習
3	13:10~14:40	実習	講義・演習	実習	実習 派遣研修*	実習
4	14:50~16:20	実習	講義・演習	実習	実習 派遣研修*	実習

## (2年生：令和4年度)

時限	時間	月	火	水	木	金
1	8:50~10:20	実習	派遣研修* 実習	実習	派遣研修* 実習	実習 (一部講義)
2	10:30~12:00	実習	派遣研修* 実習	実習	派遣研修* 実習	実習 (一部講義)
3	13:10~14:40	実習	派遣研修* 実習	講義・演習	派遣研修* 実習	実習 (一部講義)
4	14:50~16:20	実習	派遣研修* 実習	講義・演習	派遣研修* *実習	実習 (一部講義)

## ○研修カリキュラム(計画)

- 東京農業の全体像を把握できるような講義内容により、就農イメージを醸成しやすいカリキュラムを設定
- 就農するにあたって、最低限必要な知識と技術を学べるカリキュラムを設定

研修名	1年生	2年生
座学	1 1 1 時間	3 0 時間
演習	8 7 時間	2 2 8 時間
外部研修	1 5 6 時間	3 0 6 時間
実習	9 8 4 時間	7 8 8 時間
合計	1, 3 3 8 時間	1, 3 5 2 時間

## ～座学(講義)～

内 容	1 年 生	2 年 生
農業法規	2 7 時間	9 時間
栽培管理	2 7 時間	—
土壌肥料	1 2 時間	—
作物保護	2 7 時間	—
特別講義	1 8 時間	2 1 時間
合計	1 1 1 時間	3 0 時間

- 農地を借りるために必要な知識として農業法規に関する講義
- 野菜を管理する上で必要な知識を習得するための講義
- 東京農業の独自性および特殊性を学ぶための特別講義

## ～演習～

- 簿記による確定申告を行い、経営を分析する演習
- 農業機械や施設の取扱い・管理方法を学ぶ演習
- **2年間の研修の集大成として、自らが目指す農業経営像をレポートにまとめて報告する演習**

内 容	1 年 生	2 年 生
農業経営分析設計	(経営理念等) 2 7 時間	2 1 時間
農業機械・施設管理演習	2 4 時間	—
作付計画の立て方	3 6 時間	—
就農準備・就農計画作成	—	4 8 時間
研修成果レポートの作成	—	1 5 0 時間
合 計	8 7 時間	2 2 8 時間

## ～外部研修～

- 都内の農家や卸売市場等を視察し、東京農業の現状を知り都内での就農イメージの醸成を図る
- 指導農業士※等の下で農業経営および農家生活を体験することで、就農イメージの醸成を図ると共に、就農希望先の関係者との交流を深める

※指導農業士とは、各地域で青年農業者の育成・指導に取り組む先進的な農業者のうち、知事が認定する者のこと。

内 容	1 年 生	2 年 生
視察研修	2 1 時間	2 4 時間
農家派遣研修	1 3 5 時間	2 8 2 時間
合計	1 5 6 時間	3 0 6 時間

## ～実習～

- 1年生の共同実習では、栽培指導員から都内で栽培されている主野菜（約20種類）の基本的な栽培管理技術をしっかりと学ぶ
  - 2年生の経営実践型実習では、栽培指導員と相談しながら、研修生個別に作付計画を立て、主体的かつ実践的な栽培実習を行う
- 研修成果レポートに、栽培結果と経営分析を反映させる

内 容	1 年 生	2 年 生
共同実習	9 8 4 時間	—
経営実践型実習	—	7 8 6 時間
合 計	9 8 4 時間	7 8 6 時間



■ 栽培実習の様子



■ 演習等の様子



# 座学、農家派遣、販売、視察研修等の様子



# 多様な講師陣

## ◎都内の指導農業士や篤農家

- ◎JA東京中央会 都市農業支援部 地域農政課
- ◎（一社）東京都農業会議 業務部
- ◎（一社）東京都農業会議 経理・担い手担当
- ◎（一社）東京都農業会議 地域振興コンダクター
- ◎JA全農東京 生産事業部
- ◎JA全農東京 生産事業部 生産資材課
- ◎JA全農東京 農機サービスセンター
- ◎安心農業株式会社
- ◎株式会社やまびこもしくは株式会社丸山製作所
- ◎株式会社クボタ

## ◎NOSA I 東京 事業課

- ◎麻布大学 動物行動管理学研究室
- ◎咲楽AGR I 税理士法人 税理士
- ◎General Management Office 中小企業診断士

## ◎その他調整中

- ・デザイン・ブランディング会社
- ・東京野菜ネットワーク株式会社
- ・JA直売所担当もしくは学校給食事業担当
- ・スーパー関係者
- ・都内先輩新規就農者など

## ◎東京都関係部署

- ・東京都農林水産部農業振興課 企画調整担当
- ・東京都農林水産部調整課 制度金融担当
- ・東京都農林水産部農業振興課 園芸緑化担当
- ・東京都農林水産部食料安全課 生産環境担当
- ・東京都農業振興事務所 技術総合調整担当
- ・東京都家畜保健衛生所 肥飼料検査センター

## ◎農林水産振興財団

- ・東京都農林総合研究センター  
園芸技術科、生産環境科、スマート農業室等

## ◎研修農場（令和4年度）体制

- 農場長：都派課長級1名
- 指導員：都派遣3名（課長代理1・主任1・主事1）
- 指導員補佐（技能）：都派遣1名（主任）、固有1名
- 囑託職員（1名）・臨時職員：5名

## 八王子研修農場からの様々な情報発信

- ◎ホームページ
- ◎Facebook
- ◎Twitter
- ◎Instagram
- ◎YouTube

東京農業アカデミー八王子研修農場

検索



# 研修農場からのメッセージ

- ◎東京農業アカデミー八王子研修農場では、社会経験や年齢などが異なる研修生が都内で新規就農できるよう様々な栽培技術や知識等の研修を行っています。農業に対する想いや、理想とする農業のかたちは人それぞれですが、お互いに考え方を受入れ、協力しあい、有意義な研修生活が送れるよう努めていきます。
- ◎東京の農業振興や地域の活性化、農地保全のためにも新たな担い手の確保・育成は重要です。しかし、農外からの就農希望者が、都内で農地を借りて就農し、一定の収入を上げていくことは大変なことです。区市町村をはじめ、農業団体や関係機関、農業者等の協力がなければ新規就農は困難ですので、関係する皆様方のご理解とご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。
- また、東京で農家になりたい方にぜひ研修農場をご紹介いただければ幸いです。

最後までご視聴いただき  
誠にありがとうございました。